

## 第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成24年7月2日(月) 5校時

学 級 5年1組 男子25名 女子15名 計40名

場 所 5年1組教室

### 【復興教育との関わり】

《関連》絆⑧ 自分の成長や生活が、周囲の多くの人々の支えで成り立っていることに気づき、その人々の心情や行動に対して感謝の気持ちをもつことができるようにする。

(「いわての復興教育プログラム」 p79)

### 《復興教育の視点》

- ・自然教室での「絆」の取り組みを契機に、震災からこれまでの生活を振り返り、一人ひとり今新たに感じられることについて意見を述べ合う。
- ・題材として、昨年度総合的な学習の時間で活用した「姉妹校からのメッセージ等」を取り上げ、実際に県内・全国各地から寄せられた言葉から自分の考えを明確にもたせる。

### 1 単元名

「きくこと」について考えよう

(教材名)「きいて、きいて、きいてみよう」(光村図書)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

学習指導要領第5・6学年の「A 話すこと・聞くこと」の目標は、「(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことに応じて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる」である。

本単元に関わる主な指導事項は、「考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報に関連づけること(話聞ア)」、「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた言葉遣いで話すこと(話聞イ)」、「話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること(話聞エ)」である。

本単元では、話し手、聞き手、記録者の3人1組となってインタビュー活動を行わせる。インタビューするときの「きく」、インタビューされるときの「きく」、やりとりを記録するときの「きく」、発表を聞くときの「きく」を全員に経験させ、それぞれの役割で行った「きく」活動の違いやポイントをとらえ、今後の学習に活用できるようにすることをねらいとしている。

教材「きいて、きいて、きいてみよう」は、活動の進め方、2人のインタビュー内容、記録者のメモや発表用メモなどのポイントが示されており、子どもたちが主体的に学習に取り組めるようになっている。

#### (2) 児童について

児童はこれまでの学習で、話の中心に気をつけて聞き、前の人の発言を受けて質問をしたり、自分の経験と照らし合わせて感想を述べたりすることについては学習してきている。本単元で新たに身に付けさせたい主な言語能力は、「話し手の魅力」を引き出すために、臨機応変に質問を変えたり、収集した知識(インタビューして得た情報)を関係づけてたりすることである。本単元の中心的な活動となるインタビューは、中学年でも経験している。高学年では、ただ質問に答えてもらい、情報が得られればよいというものではなく、その場で相手の答えや、新たに沸き上がった自分の疑問を踏まえ、その場に応じて

質問項目を変えたり加えたり割愛したりしながら、創造的なやり取りをし、情報を通じて相手の人柄を浮かび上がらせるという目的を意識することを旨したい。

### (3) 指導にあたって

先月は、「男女関係なく助け合い 絆を深める自然教室にしよう」をめあてに自然教室の取り組み進めてきた児童たち。相手の気持ちを考え、お互いを思いやり助け合うことの大切さを学んできた。そんな時期である児童に、震災から1年余りたった今、おくっていただいたメッセージや物資に込められた想いについて考えさせたい。自分たちにおくられたものを取り上げることで、より意識を高くもって学習に取り組むことができると考える。また、総合的な学習の時間とも内容の関連を図りながら学習を進めていく。

## 3 単元の目標

### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・目的や状況に応じた「きく」という行為について考えることができる。

### (2) 話すこと・聞くこと

- ・目的に照らして、必要な内容は何かをあらかじめ考えることができる。
- ・複数の内容を組み合わせ、ひとつつながりの言葉を構成することができる。
- ・聞いた内容を幾つかの観点から比べることができる。

### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・話し言葉を記録し、再構成して発表することができる。

## 4 単元の評価基準

### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・目的や状況に応じた「きく」という行為について考えるようとしている。

### (2) 話すこと・聞くこと

- ・目的に照らして、必要な内容は何かをあらかじめ考えている。
- ・複数の内容を組み合わせ、ひとつつながりの言葉を構成している。
- ・聞いた内容を幾つかの観点から比べている。

### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・話し言葉を記録し、再構成して発表している。